

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公表番号】特表2006-506109(P2006-506109A)

【公表日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2006-008

【出願番号】特願2004-534674(P2004-534674)

【国際特許分類】

**A 6 1 M 16/06 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 M 16/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月6日(2007.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a)マスク殻と、

(b)額支持体と、

(c)額支持体とマスク殻との相対的な位置を調整して、マスク殻に対して少なくとも2次元で額支持体を移動できる調節組立体とを備え、  
額支持体は、

(1)マスク殻に取り付けられる支持アームと、

(2)額支持ブラケットと、

(3)患者が装着しているマスクに応じて使用者が装着位置を調節せずに患者の当接位置に額支持ブラケットを移動して、額支持ブラケットを支持アームに接続する連結組立体とを備えることを特徴とする気体供給マスク。

【請求項2】

調節組立体は、マスク殻に取り付けられる円弧状の取付部材を含み、支持アームの第1の部分は、円弧状の取付部材に移動可能に取り付けられる請求項1に記載の気体供給マスク。

【請求項3】

調節組立体は、円弧状の取付部材上に配置される複数の歯部を含み、支持アームの第1の部分は、複数の歯部の少なくとも1つに係合する可撓部を含む請求項2に記載の気体供給マスク。

【請求項4】

連結組立体は、額支持ブラケットに取り付けられる円弧状軌道と、支持アームの一部上に配置される軌道係合部材とを含み、軌道係合部材は、患者に額支持ブラケットが自動位置調整される間に円弧状軌道に沿って移動して、円弧状軌道に作動接続される請求項1に記載の気体供給マスク。

【請求項5】

マスク殻と、

マスク殻に取り付けられる支持アーム及び支持アームに連結される額支持ブラケットを有する額支持体と、

額支持体とマスク殻との相対的な位置を調整して、マスクに対して少なくとも2次元で

額支持体を移動できる調節組立体とを備え、

調節組立体は、マスク殻に連結される円弧状の取付部材を含み、円弧状の取付部材に沿って支持アームの第1の部分を摺動させて、マスク殻に対する額支持体の位置を調整できることを特徴とする気体供給マスク。

【請求項6】

調節組立体は、円弧状の取付部材上に配置された複数の歯部を含み、支持アームの第1の部分は、複数の歯部の少なくとも1つに係合する可撓部を含む請求項5に記載の気体供給マスク。

【請求項7】

- (a)マスク殻と、
- (b)額支持体と、
- (c)額支持体ではなくマスク殻に連結される気体誘導管と、
- (d)額支持ブラケットに連結されるヘッドギアとを備え、

額支持体は、

- (1)マスク殻に取り付けられる支持アームと、
- (2)額支持ブラケットと、

(3)患者がマスクを装着しながら、額支持ブラケットを支持アームから取り外し可能に、支持アームを額支持ブラケットに取り付ける連結装置とを備え、

ヘッドギア及び額支持ブラケットを患者に装着した状態を保持しながら、額支持ブラケットを支持アームから取り外すことにより、マスク殻及び気体誘導管を単一の組立体として患者から分離できることを特徴とする気体供給マスク。

【請求項8】

更に、額支持体とマスク殻との相対的な位置を調整して、マスク殻に対してが少なくとも2次元で額支持体を移動できる調節組立体を備える請求項7に記載の気体供給マスク。

【請求項9】

調節組立体は、マスク殻に取り付けられる円弧状の取付部材を含み、支持アームの第1の部分は、円弧状の取付部材に移動可能に装着される請求項8に記載の気体供給マスク。

【請求項10】

調節組立体は、円弧状の取付部材上に配置された複数の歯部を含み、

支持アームの第1の部分は、複数の歯部の少なくとも1つに係合する可撓部を含む請求項9に記載の気体供給マスク。

【請求項11】

連結装置は、

支持アームの一部に形成されるスロットと、

支持アームの一部に形成されかつ予め決められた角度でスロットから延伸し、スロットに連絡する切欠部と、

額支持ブラケットに取り付けられる連結ブラケットとを備え、

連結ブラケットは、予め決められた角度で切欠部内を通過することにより、スロット内に着脱可能に連結ブラケットを嵌合できる形状を有し、

スロット内に配置された連結ブラケットをスロット内で回転できる請求項7に記載の気体供給マスク。

【請求項12】

上部ヘッドギアストラップ、上部ヘッドギアストラップに連結される額支持ブラケット及び下部ヘッドギアストラップを有するヘッドギアを準備する過程と、

患者の頭部に上部ヘッドギアストラップを装着する過程と、

上部ヘッドギアストラップを装着した後に、患者の顔面からマスク殻を離間し、額支持体を額支持ブラケットに近接させて、気体供給マスクを所定の方向に向ける過程と、

気体供給マスクを所定の方向に向けた後に、額支持ブラケットに額支持体を連結する過程と、

額支持ブラケットに額支持体を連結した後に、患者の顔面上の所定位置に気体供給マス

クを回転させる過程と、

下部ヘッドギアストラップを気体供給マスクに連結する過程とを含むことを特徴とするマスク殻とマスク殻に連結される支持体とを有する気体供給マスクの装着法。

【請求項13】

気体供給マスクからヘッドギアの下部ヘッドギアストラップを分離する過程と、

下部ヘッドギアストラップを分離した後に、患者が装着した上部ヘッドギアストラップに接続された額支持ブラケットに気体供給マスクの支持アームを連結したまま、患者の顔面から離間させてマスク殻を移動して、気体供給マスクを回転させる過程と、

気体供給マスクを回転させた後に、額支持ブラケットから気体供給マスクの支持アームを取り外す過程とを含むことを特徴とする患者から気体供給マスクを除去する方法。